

## 資料5

### アンケート調査結果の概略

## 【目次】

1. 調査の概要及び趣旨 .....	P1
2. 調査結果について(概要)	
(1) 子どもの食習慣に関するアンケート .....	P1～3
(2) 給食に対する考え方のアンケート .....	P4
(3) 弁当に対する生徒の考え方のアンケート .....	P4～5
(3)-2 弁当に対する保護者の考え方のアンケート .....	P5～6
(4) 中学校給食に対するアンケート .....	P7～10
(5) 給食費未納に関するアンケート .....	P10
(6) 中学校教師に対するアンケート .....	P11～P12
2. 学校給食に関する調査用紙 .....	P13～P21

## 【資料5】アンケート分析

### 1. 調査の概要及び趣旨

#### 【趣旨】

佐世保市市立学校給食検討会での議論を行うにあたり、議論の際の基礎資料とするもの

#### 【概要】

調査期日 平成19年7月6日～7月19日(対象:保護者)  
 平成19年7月6日～7月27日(対象:児童・生徒・中学校教職員)  
 調査方法 アンケート方式  
 調査用紙 別紙アンケートのとおり  
 対象数等 下記のとおり

対象校	小学校	中学校	調査用紙
黒島、浅子、世知原、吉井、宇久、小佐々を除く全校	小学校5年生の児童	中学校2年生の生徒	A4両面1枚
	上記の保護者	上記の保護者	A3両面1枚
		教職員	A4両面1枚
対象数	児童 2,270人 保護者 2,270人	生徒 2,196人 保護者 2,196人 教職員 424人	
	計 4,540人	計 4,816人	
回答数	児童 2,257人 (回答率99.5%) 保護者 1,986人 (回答率87.5%)	生徒 2,087人 (回答率95.0%) 保護者 1,744人 (回答率79.4%) 教職員 392人 (回答率92.5%)	
	計 4,243人	計 4,223人	

### 2. 調査結果について(概要)

#### (1) 子どもの食習慣に関するアンケート

##### ① 「あなたは食べ物の好き嫌いがありますか」

(単位:人、%)

	小5		中2	
かなりある	313	14.2%	374	18.2%
少しある	1,146	52.0%	1,005	48.8%
ほとんどない	745	33.8%	681	33.1%
計	2,204	100%	2,060	100%

小学校5年生、中学校2年生とも、かなりある・ほとんどあるを含めて67%程度であり、2/3ほどの児童・生徒に何らかの好き嫌いがある傾向がうかがえます。

ただし、かなりあると回答した割合は、小学校5年生に比べ中学校2年生が大きい傾向となりました。

##### ② 「あなたは普段、いつも朝ごはんは食べますか」

(単位:人、%)

	小5		中2	
いつも食べる	2,022	90.8%	1,772	85.6%
週に2～3日は食べない	132	5.9%	177	8.6%
週に4～5日は食べない	39	1.8%	46	2.2%
ほとんど食べない	33	1.5%	76	3.7%
計	2,226	100%	2,071	100%

小学校5年生に比べ、中学校2年生の方が朝食をきちんととっていない割合が高い傾向となりました。

③「朝ごはんを食べない理由は何ですか」(2つまで選択)

②でいつも食べると答えた児童・生徒以外(児童204人、生徒299人)  
(単位:人、%)

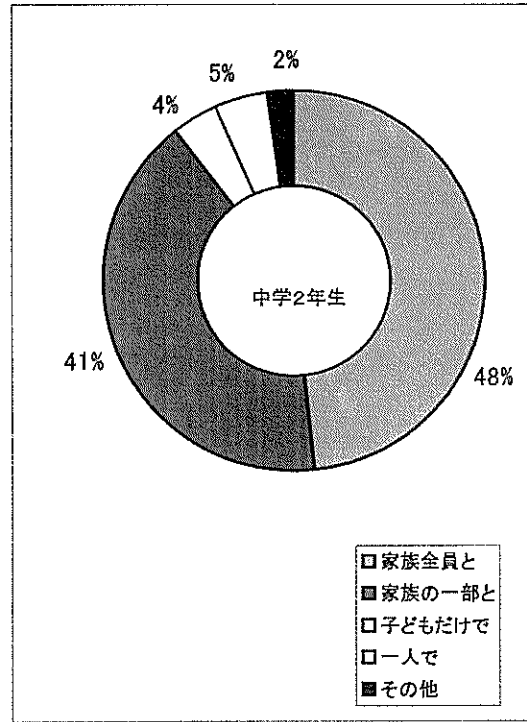
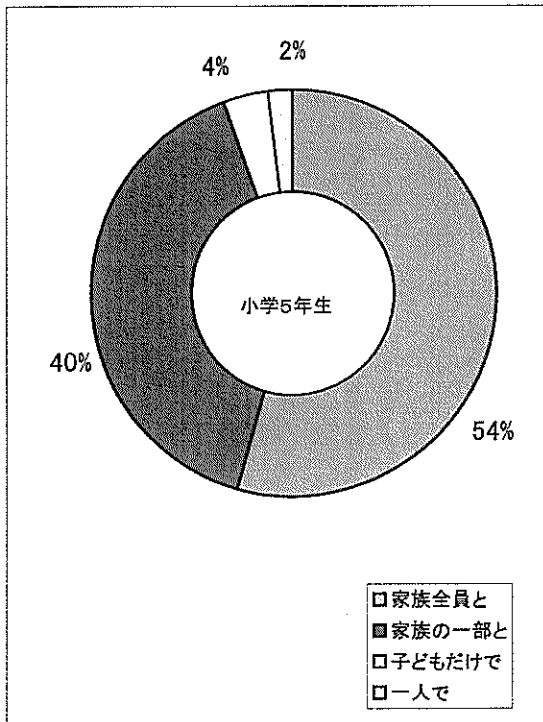
	小5		中2	
食欲がない	140	40.2%	186	37.0%
時間がない	141	40.5%	222	44.1%
太りたくない	16	4.6%	13	2.6%
朝食が用意されていない	36	10.3%	54	10.7%
その他	15	4.3%	28	5.6%
計	348	100%	503	100%

小学校5年生に比べ、中学校2年生の方が「時間がない」ことを理由に朝食をとらない割合が高い傾向となりました。

④「夕食はいつも誰と食べますか」

(単位:人、%)

	小5		中2	
家族全員と	1,211	54.5%	995	48.3%
家族の一部と	886	39.9%	850	41.2%
子どもだけで	85	3.8%	76	3.7%
一人で	41	1.8%	94	4.6%
その他			46	2.2%
計	2,223	100%	2,061	100%

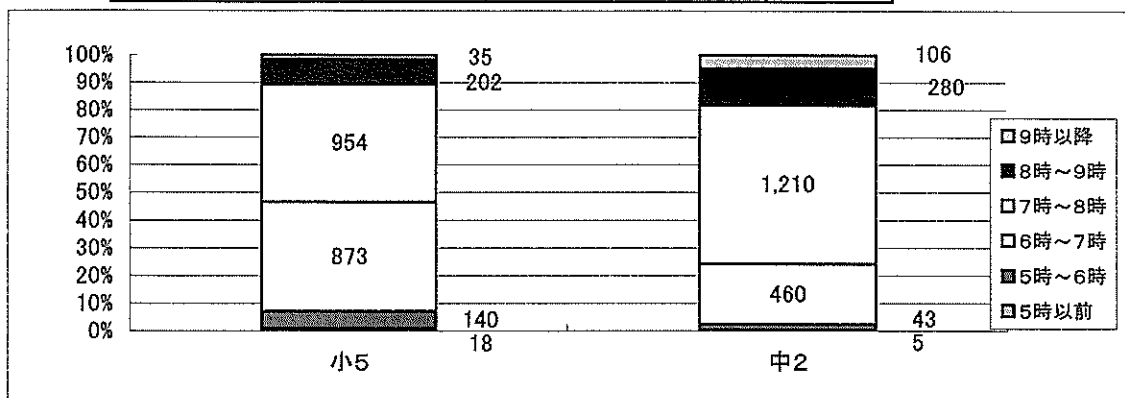


小学校5年生の場合、半数以上は家族全員と夕食をとるとの回答でしたが、中学校2年生の場合、過半数をきる結果となりました。

⑤「ふだん、夕食を食べるのは何時ごろですか」

(単位:人、%)

	小5		中2	
5時以前	18	0.8%	5	0.2%
5時～6時	140	6.3%	43	2.0%
6時～7時	873	39.3%	460	21.9%
7時～8時	954	42.9%	1,210	57.5%
8時～9時	202	9.1%	280	13.3%
9時以降	35	1.6%	106	5.0%
計	2,222	100%	2,104	100%

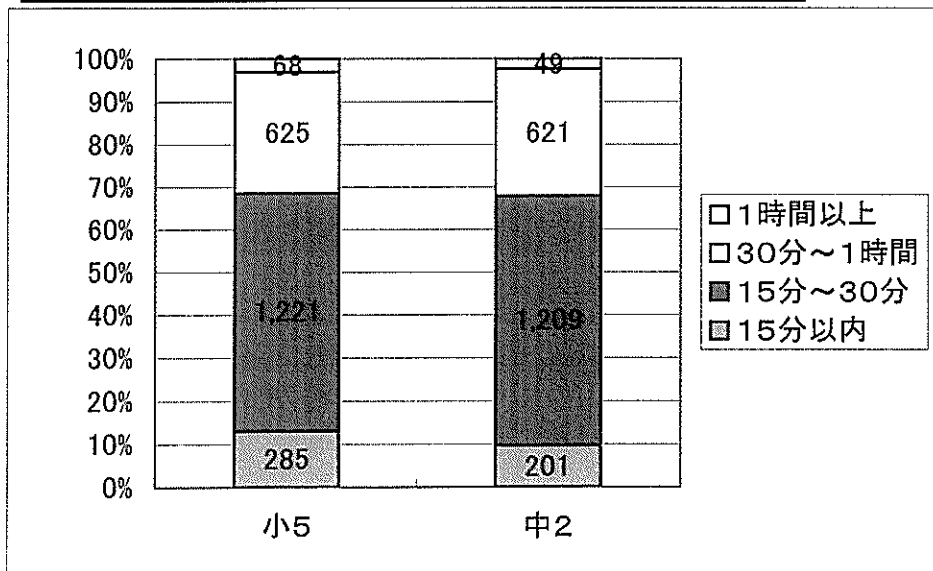


小学校5年生は6時～7時、中学校2年生は7時～8時までの割合が、もっとも高い結果となりました。

⑥「夕食にどれくらい時間をかけますか」

(単位:人、%)

	小5		中2	
15分以内	285	13.0%	201	9.7%
15分～30分	1,221	55.5%	1,209	58.1%
30分～1時間	625	28.4%	621	29.9%
1時間以上	68	3.1%	49	2.4%
計	2,199	100%	2,080	100%



小・中学校とも15分～30分の時間がもっとも大きい傾向となりました。

(2) 給食に対する考え方のアンケート

小学校5年生が、現在の給食に対して、どのように感じているのかを調査しました。

①「あなたは給食の時間を楽しいと思えますか」

(単位:人、%)

小5		
楽しい	1,613	72.9%
楽しくない	108	4.9%
どちらでもない	491	22.2%
計	2,212	100%

7割以上の児童が、「給食は楽しい」と感じている結果となりました。

②「あなたは給食をいつも残さず食べますか」

(単位:人、%)

小5		
全部食べる	1,485	66.8%
ほとんど食べる	536	24.1%
半分くらい食べる	160	7.2%
ほとんど残す	43	1.9%
計	2,224	100%

「全部食べる」「ほとんど食べる」をあわせると、90%以上となりました。

③「あなたは給食の量をどう思いますか」

(単位:人、%)

小5		
今のままでよい	1,555	70.9%
もっと増やしてほしい	227	10.4%
もっと減らしてほしい	411	18.7%
計	2,193	100%

7割以上の児童が、「今のままでよい」と感じている結果となりました。  
前問の食べ残しとの相関関係はあまりみられませんでした。

(3) 弁当に対する生徒の考え方のアンケート

中学校2年生が、現在の弁当に対して、どのように感じているのかを調査しました。

①「昼食に家庭で作った弁当をもってきていますか」

(単位:人、%)

中2		
いつも持ってくる	951	45.9%
週に4日くらい持ってくる	743	35.8%
週に2~3日くらい持ってくる	301	14.5%
ほとんど持ってこない	79	3.8%
計	2,074	100%

「いつも持ってくる」「週に4日くらいもってくる」をあわせると、76%の生徒はほとんど毎日家庭からの弁当を持参しているといえますが、残り24%は、家庭からの弁当以外で昼食をとっている状況でした。

- ②「家庭で作った弁当をもってこない時、昼食はどうしていますか」  
 (前問で「いつも持ってくる」以外の回答をした生徒1,123人を対象)  
 (単位:人、%)

中2		
店で購入もしくは学校で注文	1,555	70.9%
食べない	227	10.4%
その他	411	18.7%
計	2,193	100%

家庭からの弁当を持ってこなかった時に、10%の生徒が昼食を食べていないという結果となった。

- ③「弁当のよい点はどういうところですか」(2つまで選択)  
 (単位:人、%)

中2		
食べる量が自由に選べる	1,324	34.4%
好きなメニューを選べる	1,143	29.7%
弁当の方がおいしい	500	13.0%
栄養のバランスがよい	500	13.0%
(給食の場合)当番がたいへん	338	8.8%
その他	44	1.1%
計	3,849	100%

「量を自由に選べる」「好きなメニューを選べる」といった、個人の嗜好の面からの回答が64%となった

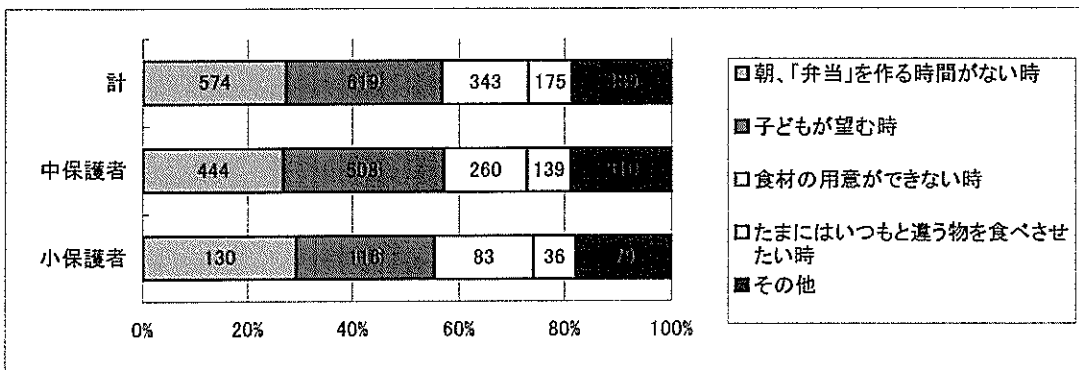
(3) 弁当に対する保護者の考え方のアンケート

→ 保護者が、現在の弁当に対して、どのように感じているのかを調査しました。中学校保護者に対する質問でしたが、小学校保護者からも回答もありました。(小・中のお子様がいらっしゃると考えられます)

- ①「市販の弁当等を利用するときは主にどんな時ですか」

(単位:人、%)

	小保護者		中保護者		計
朝、「弁当」を作る時間がない時	130	29.3%	444	26.8%	574
子どもが望む時	116	26.1%	503	30.4%	619
食材の用意ができない時	83	18.7%	260	15.7%	343
たまにはいつもと違う物を食べさせたい時	36	8.1%	139	8.4%	175
その他	79	17.8%	310	18.7%	389
計	444	100%	1,656	100%	2,100



「子どもが望む時」「弁当を作る時間がない時」の順で高い割合の回答となりました。このことから、子どもの嗜好に合わせる事及び調理時間が不足することが市販の弁当を利用するきっかけとなっていると推測されます。

②「弁当づくりについて、どう感じていますか」

(単位:人、%)

	小保護者		中保護者		計
つくりがいがある	33	7.5%	209	12.1%	242
ときどき負担になる	295	67.4%	1,148	66.4%	1,443
かなり負担になる	110	25.1%	372	21.5%	482
計	438	100%	1,729	100%	2,167

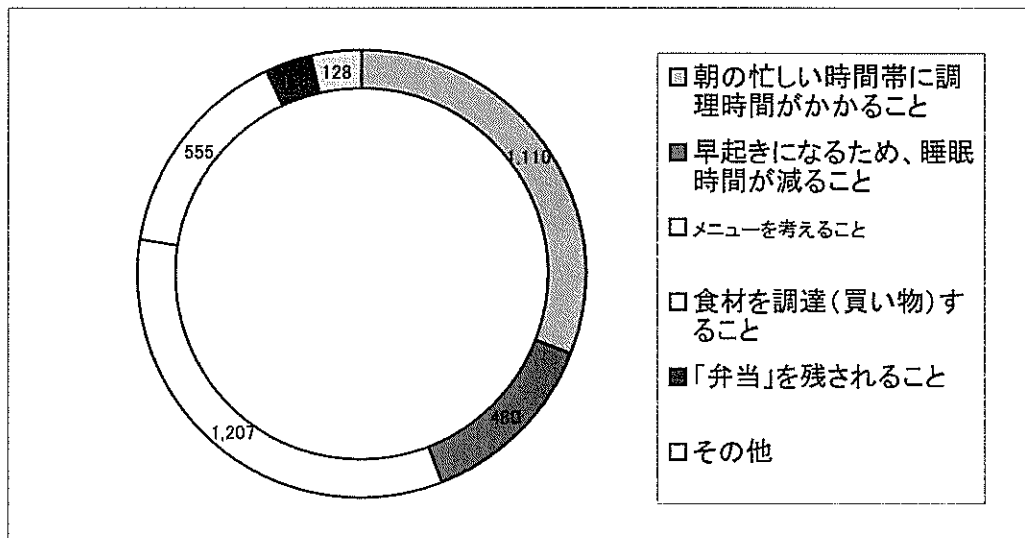
「つくりがいがある」と回答した保護者は242人(11.2%)に過ぎず、大部分が何らかの負担を感じているという結果となりました。

③「弁当づくりで負担を感じるのどのようなことですか」(2つまで選択)

(前問で「つくりがいがある」以外の回答をした保護者1,925人が対象)

(単位:人、%)

	小保護者		中保護者		計
朝の忙しい時間帯に調理時間がかかること	250	32.2%	860	30.4%	1,110
早起きになるため、睡眠時間が減ること	96	12.4%	384	13.6%	480
メニューを考えること	256	33.0%	951	33.6%	1,207
食材を調達(買い物)すること	121	15.6%	434	15.3%	555
「弁当」を残されること	27	3.5%	99	3.5%	126
その他	26	3.4%	102	3.6%	128
計	776	100%	2,830	100%	3,606



「メニューを考える」ことが負担となると回答した保護者がもっとも多く、ついで「朝の忙しい時間帯に調理時間がかかる」という回答の順となりました。



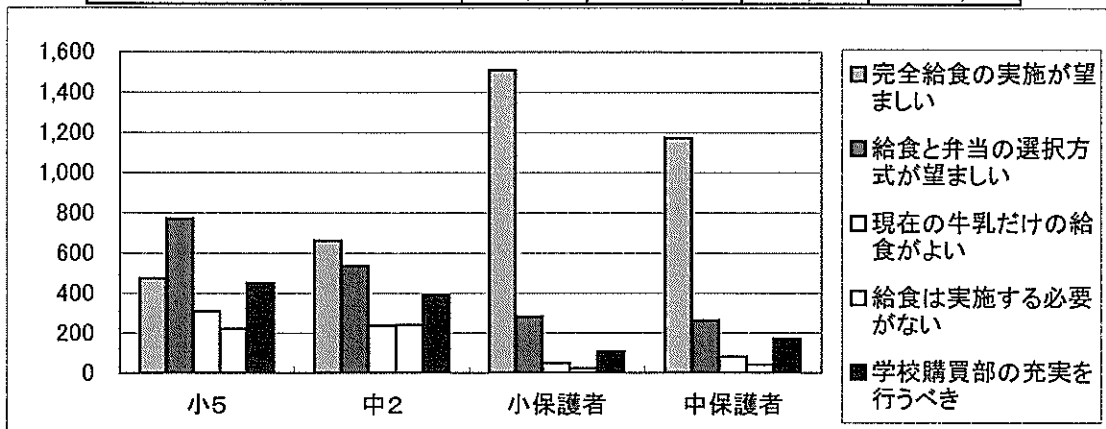
(4) 中学校給食に対するアンケート

小学校児童・中学校生徒・保護者が、中学校給食実施に関して、どのような考えをお持ちなのかを調査しました。

①「中学校給食を行うことについてどう思いますか」

(単位:人)

	小5	中2	小保護者	中保護者
完全給食の実施が望ましい	474	661	1,510	1,172
給食と弁当の選択方式が望ましい	771	535	281	262
現在の牛乳だけの給食がよい	309	237	50	81
給食は実施する必要がない	221	240	23	42
学校購買部の充実を行うべき	450	390	106	171
計	2,225	2,063	1,970	1,728



完全給食もしくは選択方式の給食の実施を希望する割合は、小学校5年生では56%、中学校2年生では58.0%、小学校の保護者では90.9%、中学校の保護者では83.0%となりました。

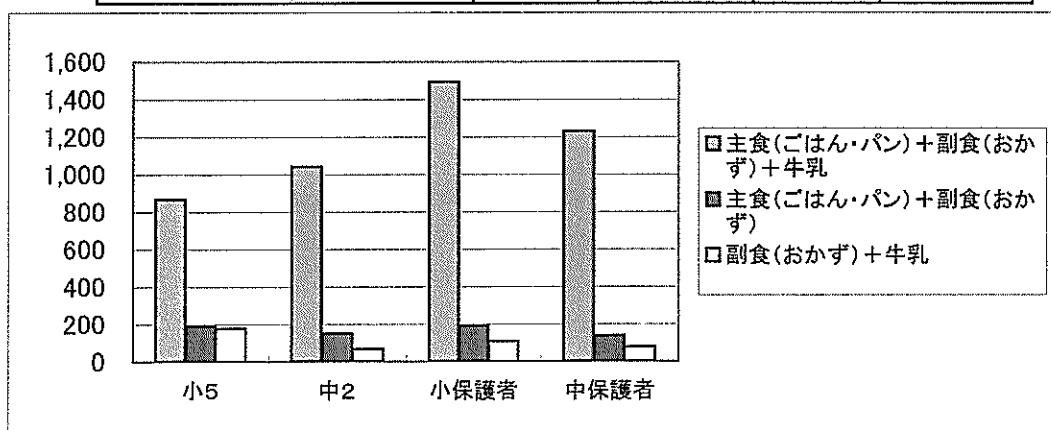
小学校の保護者が最も中学校での給食実施を求める意見が多いという結果となりました。

②「どのような給食がよいと思いますか」

(前問で「完全給食実施」「選択方式」を回答した方を対象)

(単位:人)

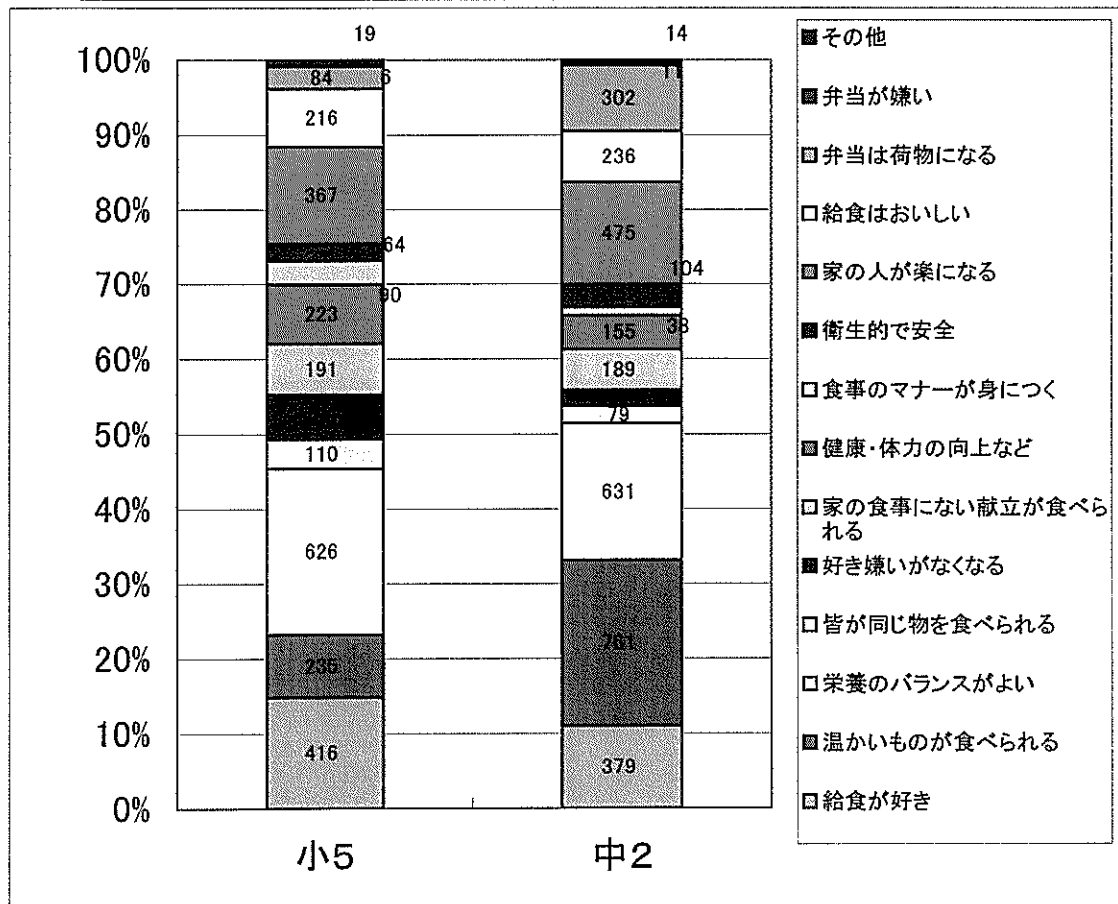
	小5	中2	小保護者	中保護者
主食(ごはん・パン)+副食(おかず)+牛乳	866	1,042	1,494	1,231
主食(ごはん・パン)+副食(おかず)	191	151	194	138
副食(おかず)+牛乳	178	66	108	77
計	1,235	1,259	1,796	1,446



完全学校給食の形を求める意見が最も多いという結果となりました。

③-1 「給食があるほうがよいと思う理由は何ですか」(3つまで選択)  
 (「完全給食実施」「選択方式」を回答した児童・生徒を対象)  
 (単位:人、%)

	小5		中2	
給食が好き	416	14.8%	379	11.0%
温かいものが食べられる	235	8.4%	761	22.1%
栄養のバランスがよい	626	22.3%	631	18.3%
皆が同じ物を食べられる	110	3.9%	79	2.3%
好き嫌いがなくなる	166	5.9%	73	2.1%
家の食事がない献立が食べられる	191	6.8%	189	5.5%
健康・体力の向上など	223	7.9%	155	4.5%
食事のマナーが身につく	90	3.2%	38	1.1%
衛生的で安全	64	2.3%	104	3.0%
家の人が楽になる	367	13.1%	475	13.8%
給食はおいしい	216	7.7%	236	6.9%
弁当は荷物になる	84	3.0%	302	8.8%
弁当が嫌い	6	0.2%	11	0.3%
その他	19	0.7%	14	0.4%
計	2,813	100.0%	3,447	100.0%

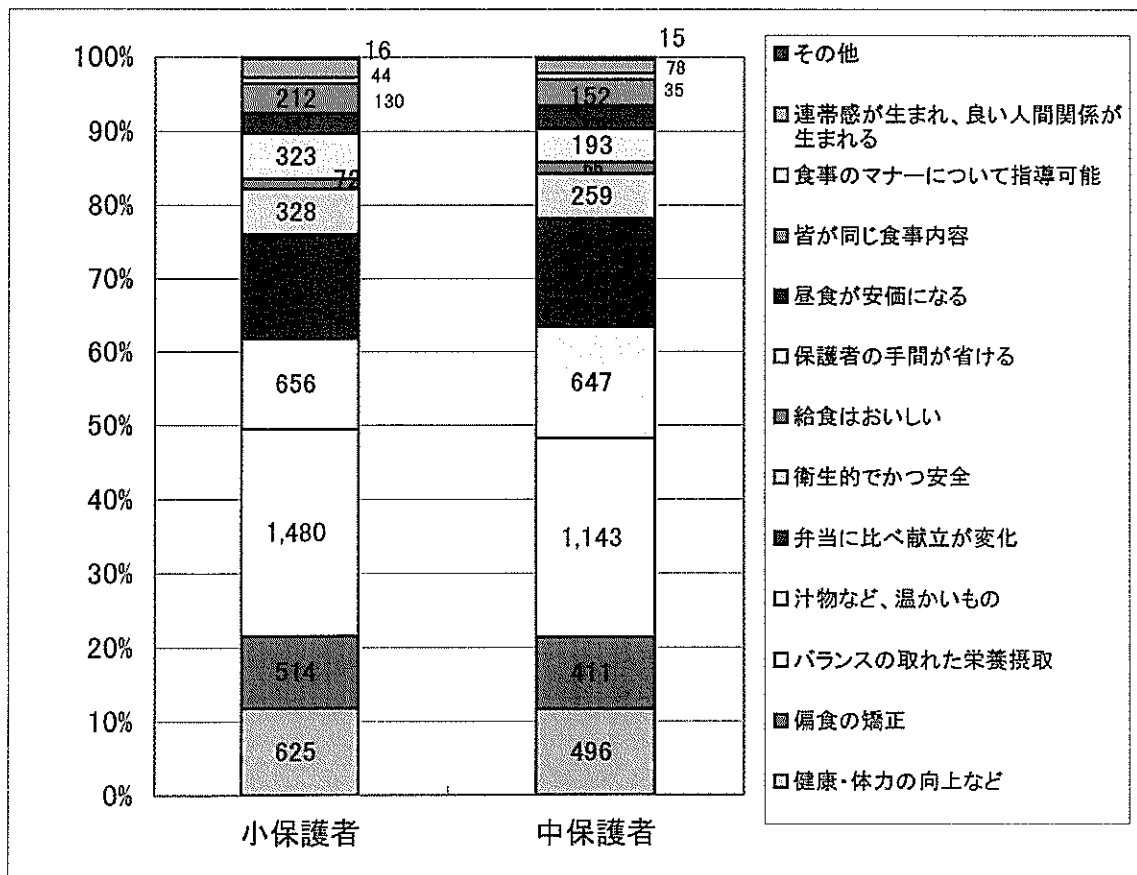


小学校5年生の児童では「栄養のバランスがよい」と回答した比率が最も高かったが、中学校2年生の生徒では「温かいものが食べられる」と回答した比率が最も高くなりました。「家の人が楽になる」という回答は、小・中ともに13%台という回答になりました。

③-2 「給食があるほうがよいと思う理由は何ですか」(3つまで選択)  
 (「完全給食実施」「選択方式」を回答した保護者を対象)

(単位:人、%)

	小学校保護者		中学校保護者	
健康・体力の向上など	625	11.8%	496	11.7%
偏食の矯正	514	9.7%	411	9.7%
バランスの取れた栄養摂取	1,480	27.9%	1,143	26.9%
汁物など、温かいもの	656	12.4%	647	15.2%
弁当に比べ献立が変化	752	14.2%	629	14.8%
衛生的でかつ安全	328	6.2%	259	6.1%
給食はおいしい	72	1.4%	66	1.6%
保護者の手間が省ける	323	6.1%	193	4.5%
昼食が安価になる	147	2.8%	132	3.1%
皆が同じ食事内容	212	4.0%	152	3.6%
食事のマナーについて指導可能	44	0.8%	35	0.8%
連帯感が生まれ、良い人間関係が生まれる	130	2.5%	78	1.8%
その他	16	0.3%	15	0.4%
計	5,299	100.0%	4,256	100.0%



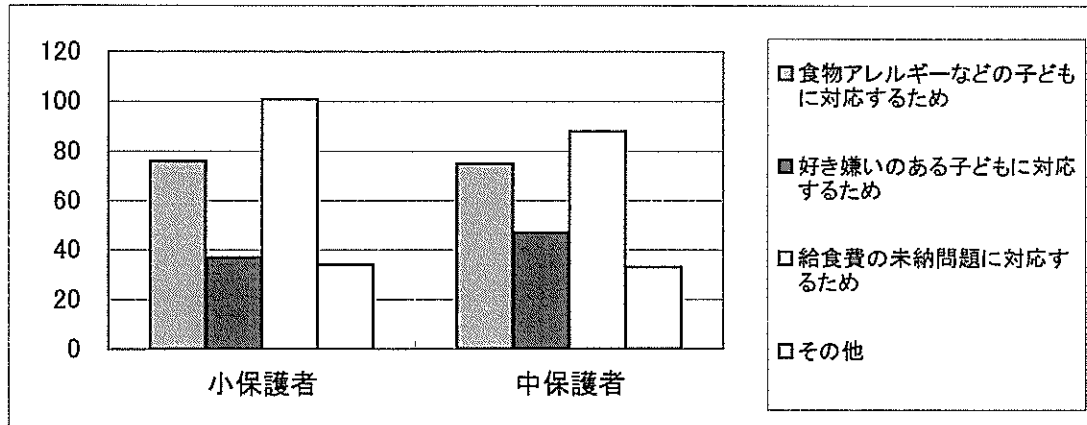
「健康・体力の向上」「バランスのとれた栄養」をあわせると、小学校の保護者は39.7パーセント、中学校の保護者は38.6パーセントとなり、栄養面での期待が大きいことがうかがえました。

また、「保護者の手間が省ける」と回答した割合は、中学校の保護者に比べ、小学校の保護者の方が若干多い傾向が見られました。

④「選択方式が望ましいと思う理由は何ですか」  
 (「選択方式」を回答した保護者を対象)

(単位:人)

	小保護者	中保護者
食物アレルギーなどの子どもに対応するため	76	75
好き嫌いのある子どもに対応するため	37	47
給食費の未納問題に対応するため	101	88
その他	34	33
計	248	243



「食物アレルギー」「子どもの好き嫌い」など、子ども個人への対応のために選択方式がよいと回答した保護者は小学校で113人(45.6%)、中学校で122人(50.2%)となりました。

「給食費未納問題への対応のため」と回答した保護者は小学校で101人(40.7%)、中学校で88人(36.2%)という結果となりました。

(5) 給食費未納問題に対するアンケート

全国的に問題となっている給食費の未納問題に対して、どのように対応すべきかを、小学校、中学校の保護者に質問しました。

①「給食費未納にはどのように対応すべきだと思いますか」

(単位:人)

	小保護者	中保護者
申し込み方式(弁当か給食かの選択方式)にするとよい	495	424
保証人制度を取り入れるとよい	258	202
プリペイド(前払い)方式	684	600
わからない	275	242
その他	120	106
計	1,832	1,574

「申し込み方式」「保証人制度」「プリペイド制度」など、制度設計にあたり何らかの方法をご回答いただいた保護者は、小学校で1,437人(78.4%)、中学校で1,226人(77.9%)となりました。

②「給食費未納について自由にご意見をお寄せください」

約7割の意見は、法的手段も含めた強硬な対応をとるべきだというご意見をいただきました。

(6) 中学校教師に対するアンケート

中学校の教師に対して、家庭での弁当、中学校給食の件についてご質問しました。

① 「家庭で作る弁当の良い点はどれだと思いますか」(2つまで選択)

(単位:人)

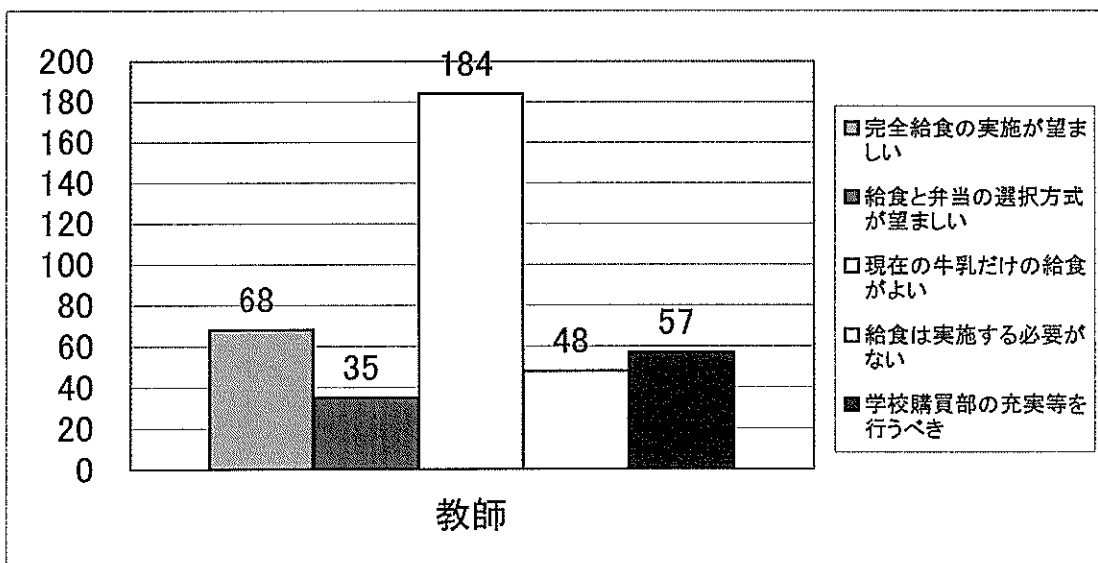
食事の内容を自由に選べ、個人差に対応できる	116
子どもの食事に保護者が責任が持てる	231
保護者と子どもの結びつきが強くなる	259
家庭の意思で安全な食材を選べる	60
健康・体力の向上などに役立つ	9
栄養のバランスがよい	3
偏食の矯正ができる	2
給食のような準備や後片付けがない	81
昼食や食についての指導が行いやすい	10
その他	5
計	776

「子どもの食事に保護者が責任が持てる」「保護者と子どもの結びつきが強くなる」といった、保護者と子どもの関係を重視する回答が490人(63.1%)という結果となりました。

② 「中学校給食を行うことについてどう思いますか」

(単位:人)

完全給食の実施が望ましい	68
給食と弁当の選択方式が望ましい	35
現在の牛乳だけの給食がよい	184
給食は実施する必要がない	48
学校購買部の充実等を行うべき	57
計	392



「現在の牛乳だけの給食がよい」との回答が184人(46.9%)で最も多い結果となりました。

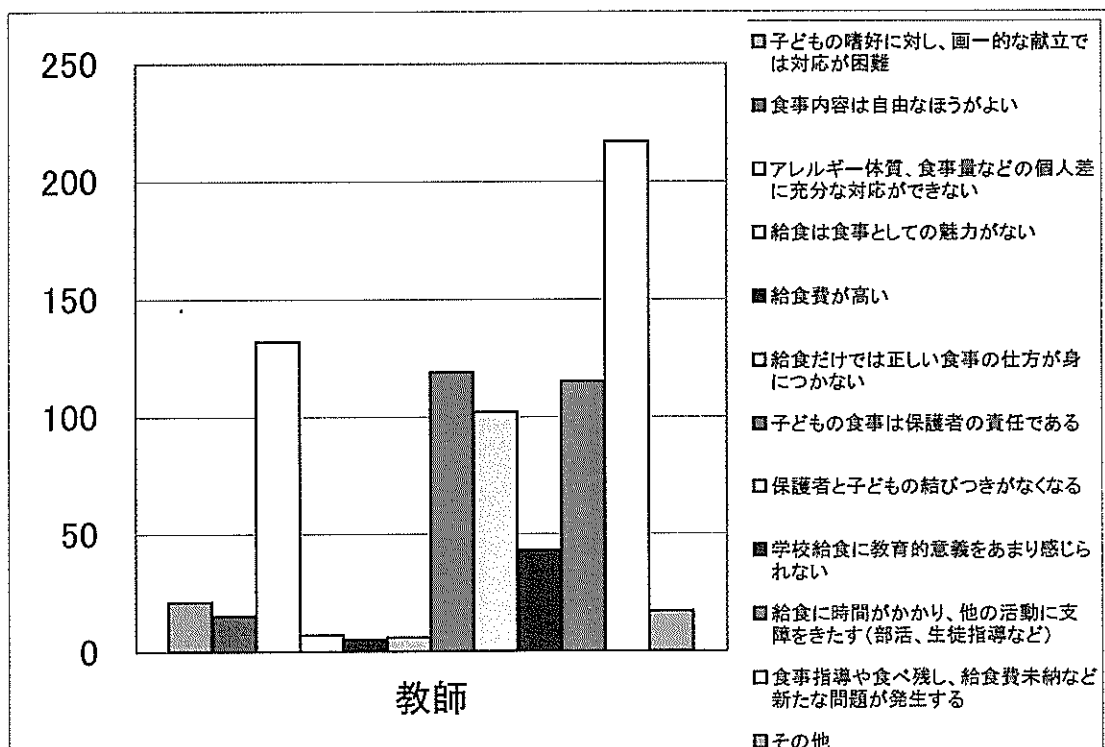
「完全給食の実施」「給食と弁当の選択方式」の回答は103人(26.3%)という結果になりました。

③「中学校給食を実施しなくてもよい(牛乳だけがよい)と思う理由はなんですか」(3つまで選択)

(前問で「牛乳だけ」「実施の必要なし」「購買部等の充実」と回答した289名を対象)

(単位:人)

子どもの嗜好に対し、画一的な献立では対応が困難	21
食事内容は自由なほうがよい	15
アレルギー体質、食事量などの個人差に十分な対応ができない	132
給食は食事としての魅力がない	7
給食費が高い	5
給食だけでは正しい食事の仕方が身につかない	6
子どもの食事は保護者の責任である	119
保護者と子どもの結びつきがなくなる	102
学校給食に教育的意義をあまり感じられない	43
給食に時間がかかり、他の活動に支障をきたす(部活、生徒指導など)	115
食事指導や食べ残し、給食費未納など新たな問題が発生する	217
その他	17
計	799



「保護者の責任」「保護者と子どもの結びつき」といった、保護者と子どもの関係を重視する回答は221件(27.7%)と最も多い回答となりました。

次いで、「子どもの嗜好」「アレルギーや食事量」といった、個人に対する対策を理由として実施しなくてもよいとの回答が153件(19.1%)という結果となりました。

④「給食費未納にはどのように対応すべきだと思いますか」

(単位:人)

申し込み方式(弁当か給食かの選択方式)にするとよい	59
保証人制度を取り入れるとよい	29
プリペイド(前払い)方式	185
わからない	66
その他	35
計	374

「申し込み方式」「保証人制度」「プリペイド制度」など、制度設計にあたり何らかの方法をご回答いただいた教師は、273人(73.0%)となりました。